

えべつ 市議会だより

平成29年8月1日発行

No.130

発行 江別市議会
江別市高砂町6番地
電話011(381)1051
編集 議会広報広聴委員会
印刷 江別印刷業協同組合



～ 第28回えべつやきもの市 ～

市議会の新しい構成が決まりました

主な内容

- ◇ 第2回定例会の概要 2～3
- ◇ 一般質問 4～7
- ◇ 次期定例会の予定ほか 7
- ◇ 委員会・会派構成、議会の動き 8

一般質問のページに質問議員の顔写真を掲載いたします。

市議会をより身近に感じていただけるよう、今号から議員の希望に応じて一般質問の氏名欄に顔写真を掲載しております。

市議会ホームページ <http://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/site/gikai/>

ホームページでは議案等に対する各議員の賛否の状況や会議録など、議会の情報がごらんになれます。

また、4月からは江別市議会フェイスブックも開設しております。議会の最新情報を発信しておりますので、こちら是非ごらんください。

※ホームページをごらんにならない場合は、議会事務局(011-381-1051)までお問い合わせください。

江別市議会

検索

f 江別市議会公式
Facebookページ



障がいのある方のための、点字とCDによる「えべつ市議会だより」もあります。

(詳細)福祉課障がい福祉係 ☎(011)381-1031

平成29年 第2回 定例会

第2回定例会は6月13日から27日まで15日間の会期で開かれました。
市立学校設置条例の一部改正を初め、一般会計補正予算などの議案33件、選挙5件、諮問2件、決議案1件、報告7件を議了しました。
また、正副議長等の選挙が執行されたほか、2年の任期満了に伴い常任委員会等の構成も変更になりました。
一般質問は21日から23日までの3日間行われ、9名の議員が市政全般にわたって市長の見解をただしました。
議案の内容についてお知らせします。

条 例

◎市立学校設置条例の一部改正

平成30年4月1日に、角山小学校を対雁小学校へ統合することに伴い、条例で定める角山小学校の名称と位置を削除するものです。



角山小学校

◎市税条例の一部改正

地方税法及び航空機燃料譲与税法の一部改正に伴い、個人市民税、固定資産税、軽自動車税について必要な改正を行うものです。

主な改正の内容として、個人市民税では、上場株式等に係る配当所得等について、所得税の確定申告と異なる内容の市民税申告をした場合、納

税義務者が課税方式を選択できるようにするものです。
固定資産税では、保育の受け皿整備を促進するため、家庭的保育事業や企業主導型保育事業に使用する家屋等の課税標準の減額措置について、わがまち特例とした上で特例率をそれぞれ3分の1にするものです。

軽自動車税では、グリーン化特例の対象を見直した上で2年延長し、期間内に初めて車両番号の指定を受けた3輪以上の軽自動車について、取得した翌年度分に限り、燃費性能値等に応じて税率を軽減する規定を追加するものです。

◎都市計画税条例の一部改正

地方税法及び航空機燃料譲与税法の一部改正に伴い、保育の受け皿整備を促進するため、企業主導型保育事業に使用する家屋等の課税標準の減額措置について、わがまち特例として新設し、特例率を3分の1にするものです。

◎議会政務活動費の交付に関する条例の一部改正

政務活動費を充てることのできる経費に広報費を加えるものです。

一 般 議 案

◎財産の取得

車両の老朽化に伴い、大型ロータリー除雪車1台を4千341万6千円で、歩道ロータリー除雪車2台を3千603万9千600円で、消防ポンプ自動車1台を2千366万2千330円で、救急自動車1台を3千358万8千円でそれぞれ購入し、更新するものです。



救急自動車

◎石狩東部広域水道企業団議会議員の補欠選挙
◇高間専逸議員、宮川正子議員が当選。

◎札幌広域圏組合議会議員の補欠選挙
◇高間専逸議員が当選。

◎石狩教育研修センター組合議会議員の補欠選挙
◇島田泰美議員が当選。

◎人権擁護委員候補者の推薦
◇小林正枝氏の推薦を可と
答申。
◇支那英孝氏の推薦を可と
答申。

◎教育委員会委員の任命
◇須田壽美江氏の任命に同意。

◎監査委員の選任
◇鈴木真由美議員の選任に同意。

◎農業委員会委員の任命
◇池田太郎氏の任命に同意。
◇伊藤良明氏の任命に同意。
◇大井川和雄氏の任命に同意。

◇春日学氏の任命に同意。
◇加藤富雄氏の任命に同意。
◇金安正明氏の任命に同意。

人 事

◎議長選挙

◇高間専逸議員が当選。

◎副議長選挙

◇宮川正子議員が当選。

～就任にあたって～



議長 高間 専逸



副議長 宮川 正子

私たちは、さきの定例会におきまして議長、副議長に選出され、その重責に身の引き締まる思いでございます。

これまで議会では、開かれた議会を目指して議会基本条例の制定を初め、市民と議会の集いやフェイスブックの開設など、さまざまな改革に取り組んでまいりました。

議会に対する市民の関心が高まる中、引き続き議会のあり方について、活発に意見を交換しながら議論を深めることで、市民の皆様の負托に応えてまいりたいと考えております。

皆様の一層のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

- ◇工藤多希子氏の任命に同意。
- ◇小林秀樹氏の任命に同意。
- ◇佐藤和人氏の任命に同意。
- ◇田中浩一氏の任命に同意。
- ◇土切裕二氏の任命に同意。
- ◇豊岡保智氏の任命に同意。
- ◇中田和孝氏の任命に同意。
- ◇永田喜一郎氏の任命に同意。
- ◇萩原俊裕氏の任命に同意。
- ◇細川昭典氏の任命に同意。
- ◇本間正二氏の任命に同意。
- ◇三好雄一氏の任命に同意。

- ◇森田芳明氏の任命に同意。
- ◇渡部正廣氏の任命に同意。

◎固定資産評価審査委員会委員の選任

- ◇小林敏道氏の再任に同意。

予 算

◎一般会計補正予算

国等の予算動向による変更や緊急を要するものへの措置により、2千157万7千円を増

一般会計補正予算の概要

事業内容	補正額(千円)
待機児童解消対策事業(旧白樺保育園内の地域開放スペース整備費等の追加)	2,581
学校適正配置推進事業(角山小学校の閉校に伴う記念式典の開催に係る補助等)	2,780
小学校教育扶助費(国の支給単価改定に伴う新入学児童生徒学用品費等の追加)	9,144
中学校教育扶助費(国の支給単価改定に伴う新入学児童生徒学用品費等の追加)	4,356
スポーツ合宿誘致推進事業(水球女子日本代表の合宿誘致に伴う補助の追加)	2,716
補正総額	21,577

報 告

額し、予算総額は、439億7千157万7千円になりました。

◎一般会計予算繰越明許費の繰越報告

被災者支援システム整備事業など計12事業について、事業の進捗状況や所要期間等を勘案して、14億7千648万7千円を29年度に繰り越したものです。

◎江別振興公社、スポーツ振興財団、フラワーテクニカ

る国民健康保険税の軽減対象世帯を拡大するものです。

決 議

◎市立病院・地域医療検討特別委員会の設置

市立病院は、平成18年の医師の大量退職により厳しい経営状況に陥りましたが、関係者のためまぬ努力により、医師の確保に努め、診療体制の強化と経営改善に取り組んできました。

しかし、病院事業会計は、一般会計からの毎年度の繰り入れに加え、27年度には不良債務解消のための借り入れを行うなど、依然として厳しい状況が続いていることから、議会として必要な調査及び審査を行うための特別委員会を設置しました。

えべつの平成28年度決算に関する書類
市が出資している公社や財団、株式会社等の28年度決算が報告されました。



市立病院

一般質問

今定例会では、9人の議員が一般質問を行いました。各議員が行った質問の中から、誌面の都合上2項目を選び、要約して掲載しています。



江別市民憲章

問 市の歴史的な成り立ちと先人が果たした役割や功績等の観点から、江別市民憲章の原文の改正も視野に入れた議論をする場を設けては。

答 江別市民憲章は、昭和43年当時に、今後のまちづくりを推進していくための道しるべとして、市民共通のまちづくりの目標として制定されたものである。

制定当時の多くの市民の思いが込められ、広く定着していることから、今後もその考え方を尊重し大切にしていきたいと考えているが、市民憲章に対する市民の考え方も注視していきたい。

手話言語市区長会への参画

自治体間での手話等に関

する施策の情報交換等を行うために設立された、全国手話言語市区長会に参画する考えは。

答 市では、既に手話は言語であるとの基本的な認識のもと、手話通訳者等の養成を初め、市役所本庁舎への専任手話通訳者の配置や手話通訳者の派遣事業を行っている。

同会への参画については、会員同士の情報交換や全国の特徴的な先進施策を学ぶことができるなどのメリットも考えられることから、国や道の動きについての情報を収集しながら、参画に向けて検討していきたい。

このほか、MV122オスプレイの北海道大演習場における訓練、DVの予防と対策などについて質問がありました。



待機児童対策

問 国が新たに策定した子育て安心プランや本市の人口の社会増に伴う計画の見直しが必要では。

答 市では、27年度の子ども・子育て支援新制度のスタートに合わせ策定した江別市子ども・子育て支援事業計画に基づき保育の提供体制の拡大を図ってきたところである。

27年度以降253名分の保育の受け皿を拡大しているが、市の人口の社会増等の影響もあり引き続き待機児童解消対策を進めていく必要があると考えている。

本年は同計画の中間年に当たり、計画の見直しを予定していることから、国の子育て安心プランの内容等も踏まえ、保育の提供体制についても見直しを検討していきたい。



よつば保育園

乳がん検診

問 検診で乳がんを見逃すリスクが高い体質の女性がいるとの報道があるが、市の検診受診率への影響と対策は。

答 一部の報道において、マンモグラフィ検査では乳腺密度が高い高濃度乳房の場合、異常の有無が判別しにくく、がんの発見がおくれるのではないかと懸念されている。

国は、高濃度乳房であることを受診者に通知するための体制づくりを進める方針を示したことから、市でも国の動向を注視するとともに、検診に対し懸念を招くことがないよう、乳がんの死亡率減少の効果認められているマンモグラフィの有効性や高濃度乳房に関する情報等について提供を行いたい。

このほか、社会福祉施設の地域連携、札幌学院大学の一部学部移転などについて質問がありました。



家庭ごみの収集

問 ごみステーションとして固定式ボックスを市道に設置することを検討すべきでは。

答 ごみステーションは、現在、一般住宅用と共同住宅用を合わせて市街地では約5千500カ所に設置されており、設置場所については地域住民と協議しながら決定している。

一般住宅用ごみステーションの設置の際には、通行の障害とならないよう配慮し、基本的に可動・組立式のボックスやサークルとして、十分なスペースが確保できるように対応している。

市道への固定式ボックスの設置は、交通安全や道路景観のほか、除排雪作業等への影響も懸念されることから、設置については、地域から相談があった場合には個別に、きめ細かな対応をしていきたい。



ごみステーション

ごみの戸別収集

問 ごみ出しが困難な方への戸別収集を行うことを検討すべきでは。

答 家庭で排出されるごみの収集に当たり、高齢者世帯や障がい者世帯などに対するサポートの必要性は認識しており、これまでも自治会の役員や地域の方々と協議し、対応しているところである。

ごみ出しが困難な方への対応については、国立環境研究所が、本年5月に高齢者ごみ出し支援ガイドブックを公表している。

今後このガイドブックや他市の実施手法を参考に、地域包括支援センター等と連携を図りながら、福祉サービスや市の収集形態を踏まえた対応について、引き続き検討していきたい。

このほか、教育勸語に対する見解、マイナンバー制度などについて質問がありました。



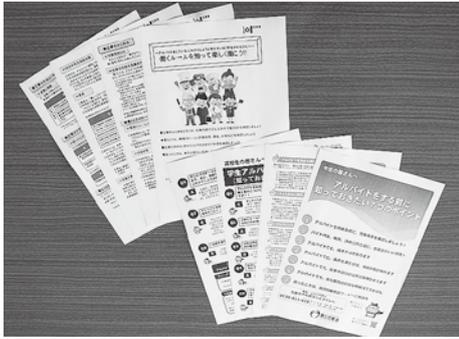
さとし だて 議員 公明党

学生の雇用と労働環境

問 ブラックバイト対策の推進についてどう考えるか。

答 国では、28年度から具体的なトラブル事例を盛り込んだ学生向けリーフレットなどを作成し、労働条件の確認を促しているほか、道でも就業ルール等を確認することができるよう国と同様に、被害防止のためのリーフレットを作成し注意を呼びかけている。

市内にはアルバイトをしながら生活する学生が多くいるため、市としても引き続き、国や道と教育機関の橋渡し役を担っていくほか、江別市地域雇用連絡会議等を活用しながら、市内の大学・高校との情報共有を初め、国や道が作成している学生向けリーフレットの配布等を通して周知、啓発に努めていきたい。



学生向けのリーフレット

災害に強いまちづくり

問 水防法等の一部改正に伴い水害リスク情報の公表対象となる河川がある場合、どのように公表する考えか。

答 当市において水害リスク情報の公表対象となる河川は、早苗別川や麻別川など20河川を想定している。

市ではこれまで、過去の浸水を反映したハザードマップや防災あんしんマップ、避難所ガイドを作成し、水害の危険に関する情報の周知に努めてきたところであるが、今年度中に改定を予定しているハザードマップ等に具体的な河川名を明記するなど、法改正の趣旨に沿って対応していきたい。

このほか、江別市健康都市宣言後の取り組み、インフルエンザの予防接種について質問がありました。



たけし いしだ 議員 江別未来づくりの会

農業と福祉の連携の現状

問 農業と福祉の連携について、どのように現状を認識し

取り組んできたのか。

答 農業と福祉の連携にはさまざまな取り組みがあり、市内では就労訓練の場としての活用や農作業の一部委託が行われるなど徐々に広がっていると認識している。

市では、障がい者と農業の連携をテーマにした大学連携調査研究事業の採択や関係機関との情報交換等を行ってきたが、通年での雇用確保のほか、農業と福祉の相互理解と連携を具体的に進めていくための議論の場が十分ではないことなどが課題であると考えている。

農業と福祉の連携の推進

問 農業と福祉の連携を推進するため、今後どのように対応していく考えか。

答 市では、通年雇用や障がい特性への配慮などの課題に対応するため、市が事務局を務めている福祉事業所を中心とする自立支援協議会の就労支援部会にJ A道央など関係機関や農業者を招いて、これらの課題の解決や相互理解を深めるための議論を進めている。

今後は、さらに農業と福祉の連携を強化していくことが

重要であると認識していることから、江別農福連携協議会とも情報を共有しながら、さらなる連携に努めていきたい。



自立支援協議会 就労支援部会

技能労働者の処遇改善

問 建設業界で働く技能労働者の処遇改善のため、どのように取り組んできたのか。

答 市では、国が公共工事設計労務単価を見直した際には新たな労務単価を用いて公共工事の設計金額を積算するとともに、工期の設定等においても連休や降雨日数などを考



こども うら 議員 公明党

慮している。また、今年度からは市独自の取り組みとして、担い手の育成や確保に資するよう、登録業者の格付基準に若年・女性技術者の雇用に係る加重点目を加えている。

市としては、災害対応の観点からも建設業の育成は重要と考えており、国の対策等を踏まえながら、技能労働者の処遇改善につながるよう取り組んでいきたい。

子どもの救急医療相談

問 24時間対応可能な救急医療相談を行う考えは。

答 市が独自で24時間対応の子どもの救急医療相談窓口を設置することは、人材確保や費用の面からも難しいものと考えている。救急医療相談については、日中は保健センター



保健センター

ーやかかりつけの医療機関に相談しているものと考えており、夜間については道が実施する小児救急電話相談事業を案内している。

今後においても、日中は保健センターやかかりつけの医療機関を利用していただき、夜間は道が行う事業の中で、小児救急医療相談に対応していきたい。

このほか、就学援助について質問がありました。



工業団地の用地

問 工業団地の用地の現況と今後の展望についてどう考えるか。

答 市内には江別第一工業団地と江別第二工業団地のほか、江別RTNパークの3つの工業団地があり、それぞれ169社、36社、13社が操業している。

江別第一と第二工業団地にある未利用の土地・建物については、これまでも江別工業団地協同組合などからの情報の把握に努めており、今後も業種を問わず企業のニーズに

合った物件を紹介し、企業誘致に努めたい。

また、江別RTNパークについては、引き続き食品製造業等の誘致を進めるとともに、市の土地利用の方針を定めた江別市都市計画マスタープランに基づき、今後の工業用地の需要や企業の意向などを踏まえ検討していきたい。

インバウンド観光

問 インバウンド観光（訪日外国人による観光）についてどう考えるか。

答 市では28年度の観光入込み客数が104万6千人となり、日帰りで多くの方が訪れていることから、大都市札幌に隣接している強みを生かした日帰り型・着地型観光を目指し、札幌市民や道央圏への旅行者の誘客を進めている。

また、札幌市には多くの外国人が訪れていることから、市では今年度、外国人の視点を取り入れた英語版観光パンフレットを作成し、新千歳空港等の観光案内所などで配布する予定であるほか、道央圏からの誘客にも努めるため、旅行関連事業者と連携し、訪日外国人にも気軽に立ち寄れる江別観光の魅力をもPRして

いきたい。



商業施設EBRI(エブリ)

このほか、江別駅周辺のまちづくりについて質問がありました。



国民健康保険制度

問 国民健康保険の都道府県単位化が江別市の国保へ与える影響について、どう考えるか。

答 国民健康保険の都道府県単位化とは、持続可能な医療保険制度の構築を図るため、平成30年4月から、都道府県が財政運営の責任主体となり、市町村とともに保険者として運営していく体制のことで、

全国統一的に取り組まれるものと認識している。

都道府県単位化後は、国費投入による財政支援が拡充されるほか、国民健康保険税の激変に対するさまざまな緩和措置が講じられる予定となっている。しかしながら、未確定の要素があることから、国民健康保険税の水準について、国や道の動向に注視しながら、8月に行われる予定の仮算定の結果を踏まえ、市の対応を検討したい。

就学援助制度

問 就学援助の支給費目にクラブ活動費を追加すべきでは。

答 市教委では、29年度から就学援助の支給費目として、児童・生徒の全員が負担するPTA会費と生徒会費を新たに追加している。

クラブ活動費の支給については、部活動の種目により必要となる経費等が異なることや、入退部の時期により支給額の調整が必要となるほか、クラブ活動の加入の有無により不公平感が生じることなど、さまざまな課題があることから、就学援助の費目を含めていない状況である。これまでもクラブ活動への

支援として、中学校体育連盟や中学校文化連盟が行う全道大会や全国大会に出場する生徒に対し、必要経費の一部を助成していることから、必要とする支援の内容について、他市の状況を踏まえながら対応していきたい。



高齢者の運転免許証の返納

問 高齢者の自動車運転免許証の返納を推進するため、運転経歴証明書の交付手数料を助成すべきでは。

答 交通事故の抑制や安全運転を励行するため、高齢者が運転免許証を返納しやすい環境づくりが必要と考えており、市では現在、全国的な取り組み事例を調査・研究している。運転経歴証明書の交付手数料の助成は、公的な身分証明書としてマイナンバーカードがあることから、現状では難しいものと考えている。

運転免許証の自主返納については、今後、広報誌に特集を組むなどわかりやすくPRしていくので、まずはその状

況を見きわめたい。

活動休止中の自治会

問 現在活動を休止している大麻園町団地自治会に対して、活動再開に向けた方策を考えているか。

答 同自治会からは25年度から相談を受けており、市では広報誌の配布など一部の活動を続けることで地域のつながりを維持できるよう助言し、存続に向けた働きかけを行ってきた。また、同自治会でも、自治会活動への協力を募集するなど取り組んできたが、27年度から活動を休止している。

今後の活動再開に向けては、休止当時の役員等に現状を伺い、その中で活動再開に向けた助言や相談をするほか、大



大麻園町団地

麻地区自治連合会連絡協議会などと具体的に相談していきたい。

次期定例会の予定

第3回定例会

9月5日～9月26日

常任委員会

9月6日～11日

一般質問

9月13日～15日

決算特別委員会

9月19日～21日



ノハナショウブ群生地

政務活動費の領収書を議会ホームページで公開いたします。

議員の調査研究、視察等の経費として利用されている政務活動費について、これまでも議会ホームページ上で収支報告書を公開してまいりました。

江別市議会では開かれた議会を目指すことから、平成30年度からは、領収書についても議会ホームページ上で公開することといたしました。なお、公開するのは平成29年度分からで、印影や口座番号など個人情報が識別できる箇所は黒塗りでの公開となります。

議会広報広聴委員会が新たに設置されました。

本年6月から議会広報広聴委員会が設置されました。議会広報広聴委員会では、議会ホームページや議会フェイスブックの管理・運営、市民と議会の集いの企画・運営など、議会の広報、広聴活動に取り組んでまいります。

また、これまでは議会報編集委員会で行ってまいりましたが、議会だよりの発行につきましても今号から議会広報広聴委員会が行っております。読みやすく、親しまれる誌面づくりに努めてまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

委員会構成

	議会運営委員会	常任委員会			市立病院・地域医療検討特別委員会	議会広報広聴委員会	議会図書室運営委員会
		総務文教	生活福祉	経済建設			
委員長	諏訪部容子	島田 泰美	齊藤佐知子	石田 武史	清水 直幸	星 克明	裏 君子
副委員長	相馬 芳佳	徳田 哲	星 克明	高橋 典子	赤坂 伸一	堀 直人	
委員	石田 武史	岡村 繁美	裏 君子	赤坂 伸一	内山 祥弘	内山 祥弘	尾田 善靖
	岡村 繁美	齋藤 一	清水 直幸	内山 祥弘	岡村 繁美	齋藤 一	堀 直人
	齊藤佐知子	相馬 芳佳	鈴木真由美	尾田 善靖	齊藤佐知子	徳田 哲	山本由美子
	高橋 典子	角田 一	諏訪部容子	野村 尚志	島田 泰美		吉本 和子
	角田 一	干場 芳子	堀 直人	宮川 正子	相馬 芳佳		
	野村 尚志	本間 憲一	三角 芳明	山本由美子	本間 憲一		
	干場 芳子	宮本 忠明	吉本 和子		宮本 忠明		
	宮本 忠明				吉本 和子		

会派構成

	自民クラブ	民主・市民の会	公明党	江別未来づくりの会	日本共産党議員団
会長	清水 直幸	尾田 善靖	齊藤佐知子	石田 武史	団長 吉本 和子
副会長		干場 芳子			
幹事長	宮本 忠明	諏訪部容子	相馬 芳佳	本間 憲一	高橋 典子
会計	星 克明	鈴木真由美	徳田 哲	堀 直人	齋藤 一
	島田 泰美	赤坂 伸一	裏 君子		
	高間 専逸	内山 祥弘	宮川 正子		
	角田 一	岡村 繁美			
	野村 尚志				
	三角 芳明				
	山本由美子				

議会の動き

〔5月〕

11日 経済建設常任委員会
31日 経済建設常任委員会
生活福祉常任委員会

〔6月〕

1日 総務文教常任委員会
7日 議会運営委員会

13日～27日 第2回定例会

14日 生活福祉常任委員会
総務文教常任委員会

15日 市立病院・地域医療検討特別委員会

16日 議会広報広聴委員会

21日 議会運営委員会

21日～23日 一般質問

22日 議会広報広聴委員会

23日 議会図書室運営委員会

27日 議会運営委員会

議会広報広聴委員会

〔7月〕

12日 市立病院・地域医療検討特別委員会

総務文教常任委員会

13日 議会広報広聴委員会

14日 経済建設常任委員会

18日 市立病院・地域医療検討特別委員会

24日 生活福祉常任委員会

26日 議会運営委員会

28日 議会広報広聴委員会

31日 議会広報広聴委員会

編集後記

ここ数年、大規模な自然災害が毎年のように日本全国で発生しています。7月5日から6日にかけて、福岡県や大分県など九州北部を記録的な豪雨が襲い、多くの死者や行方不明者を出すなど大きな被害となっています。お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに、行方不明者の一刻も早い発見を願ってやみません。また、被災された多くの皆様にお見舞い申し上げますとともに、早期の復旧・復興を心から願うばかりです。

さて、今定例会では議員任期の折り返しを迎え、正副議長の交代をはじめ各委員会の所管替えがありました。これまで議会だよりの発行を行ってきた「議会報編集委員会」が「議会広報広聴委員会」としてリニューアルされ、議会としての広報だけではなく、議会の役割も担うことになりました。

委員一同、議会だよりのほか、ホームページやフェイスブックでの情報発信を通じてわかりやすい議会を目指すとともに、市民と議会の集いを通じて多くの声を伺ってまいりたいと思っております。よろしくお願いたします。